



(添付資料2) UNWTOプレスリリース原文(仮訳)

2013 年国際観光客到着数は 5200 万人増加し、予想を超える

UNWTO 世界観光動向(最新号)のデータによると、2013 年国際観光客到着数は成長率で 5%増となり、10 億 8700 万人を記録しました。不安定な世界経済にもかかわらず、2013 年の世界の国際観光客は 5200 万人増加し、予想をはるかに凌ぐ結果となりました。2014 年も再び 4%~4.5%の成長率を維持し、UNWTO 長期予測を上回ると予想されます。

国際観光目的地の需要はアジア太平洋地域(6%増)、アフリカ(6%増)及びヨーロッパ(5%増)が最も強かった。主な準地域は東南アジア(10%増)、中央・東ヨーロッパ(7%増)、南・地中海ヨーロッパ(6%増)及び北アフリカ(6%増)。

タレブ・リファイ事務局長は「2013 年は国際観光にとって素晴らしい年であった。」と述べ、「観光部門は根強い経済的、地政学的困難にも関わらず、変化する市況を調整し、世界の経済成長を促し、雇用を創出する驚くべき力を示してきた。実際、観光は数少ない部門のなかで、多くの国々の経済に前向きなニュースを生み出している。」と付け加えた。

UNWTO2014 年の国際観光の伸びを4%から4.5%と予測しており、2010 年から 2020 年の長期予測における3.8%を再び上回るとしている。世界の 300 名超の専門家の評価に基づく UNWTO の業況見通しも、この前年を上回る 2014 年の見通しを裏付けている。

タレブ・リファイ氏は「この 2013 年の明白な結果と期待される 2014 年の世界経済の改善は、国際観光にとっては次の前向きな年への準備である。UNWTO としては、各国政府が観光部門を支援する国家戦略を打ち立て、公平で持続可能な成長に向けたそれぞれの義務を果たすことを呼びかけたい。」と付け加えた。

2014 年の地域別予測で最も強いのはアジア・太平洋地域の5%~6%増とアフリカ地域の4%~6%増、続いてヨーロッパ地域とアメリカ地域の3%~4%増。中東地域は 0 から5%でポジティブではあるが不安定。

ヨーロッパはより多くの観光客を受け入れる

ヨーロッパ地域の 2013 年国際観光到着数は 2900 万人増加となり、トータルでは 5 億 6300 万人に伸ばした。成長率5%は 2013 年の予測を上回り、2005 年から 2012 年における地域の平均年 2.5%の伸びの倍となった。これは地域経済状況から見て特に注目すべきであり、すでに堅調であった 2011 年及び 2012 年に続くものである。準地域では中央・東ヨーロッパ(7%増)と南地中海ヨーロッパが初めて6%の最高結果を収めた。

相対的に見れば、国際観光客が 1400 万人増加し、2 億 4800 万人に達したアジア太平洋地域の成長(6%増)は最も強いものであった。南アジア(5%増)、オセアニアと北東アジア(それぞれ4%増)が比較的より穏やかな成長であった一方で、東南アジア(10%増)は最も高成長した準地域となった。

アメリカ地域(4%増)は到着客 600 万人増を数え、トータルでは 1 億 6900 万人に達した。成長を牽引したのは北・中央アメリカで(それぞれ4%増)、南アメリカ(2%増)及びカリブ海(1%増)は 2012 年に比べればスローダウンした。

アフリカ地域(6%増)は到着客で追加 300 万人を呼び込み、立ち直りつつある北アフリカ(6%増)及びサハラ以南(5%増)の到着地の持続的な成長により、新記録となる 5600 万人に達した。

ロシアと中国—2013 年の成長を牽引

世界の 10 の最も重要な送客市場のうちロシアと中国が際立った。2012 年に観光輸出額 1020 億米ドルで世界最大のアウトバウンド市場に成長した中国は、2013 年の第三-四半期までの支出で 28%の増となった。アウトバウンド市場5番目のロシア連邦は9月末で 26%成長を報告してきた。

主要な先進国の送客市場の実績は比較的 さらに穏やかであった。フランス(6%増)は弱かった 2012 年から回復、アメリカ合衆国、イギリス、カナダ及びオーストラリア、全て3%増であった。

他の新興国の市場でアウトバウンド市場において大きな成長を果たしたのは、トルコ(24%増)、カタール(18%増)、フィリピン(18%増)、クエート(15%増)、インドネシア(15%増)、ウクライナ(15%増)及びブラジル(14%)。